

自動車、シイタケ、オペラ劇場

「今度、ここトロントの近くに日本の自動車会社が工場をつくることになりましてネ。このあいだ定礎式があったんですけど、その評判が良くない。ほぼ同時にアメリカ、韓国からも工場がやってきましたが、地元の人気からいうと、フォード、チョンマイ、トヨタの順といいますナ。」

「どうしてまあ、そんなに日本は人気がないんでしょうかネ。」

「また金儲けにきた、というわけですよ。」

「売りもしないうちにそんな風にいわれるんですか」

「だってここのオペラ劇場の賛助会員200余人のうち日本関係は楽器会社がただ一つだけですヨ。これじゃあネ。」

「そ、そんなことは日本人は気づかんのですよ。」

滞米暦20年のトロント大学S先生はさりげなく言う。日本車が非常に多いのをカナダについて知り、いいきになっていたのが水をかけられた思いだった。日本が100年余で身につけた西欧の考え方が物となり再び西欧へ出ると思わぬ齟齬を生むようである。

* * *

東洋は西欧の人にとって神秘的なものなのだとは知っていた。トロント大学での私のセミナーの表題も、『東洋の神秘的なキノコの栽培について』となっていた。パトリック教授のアイデアで、参加者は30人をこえていた。かなりの人気である。ここだけでなくバンクーバーでも、マジソンでも日本きのこは人気があった。キノコの代表はシイタケで、これは日本ではナラ、クヌギの丸太で育てられている。丸太に種菌を植えつけ一年以上も待ってキノコをうる。丸太にはどんな栄養物も人工的に入れていないし菌は丸太のなかで育っていくので、見かけの上からは木が食品に変わるかのようである。植えつ

農学部教授 善本 知孝

けた種菌が靈芝のようなサルノコシカケの仲間なら、木は薬品に変わることになり、「東洋の神秘的なキノコの栽培」の名がぴたりする。よく知られているように欧米のマッシュルームは尿などで堆肥化されたワラで育てる極めて人間的な営みの産物である。

「センセイ、これがワラに生えたオイシイマッシュルームです。」

見れば日本のヒラタケである。日本留学から帰ってロバートは日本キノコの栽培を始めた。オイスターマッシュルームをもじって付けた名前に彼の日本への想いがある。

「これはヒラタケ、日本のものより軟らかい。でもカナダ人はキノコを煮て食べるから大丈夫。」

ワラを一度高温にして滅菌してから種菌をまいてキノコを育てるのは西欧系の人がよくやることである。育つのに2カ月ほどしかかからない。

「ロバート、どうして木粉・米ぬかで育てないの。やり方は中野で憶えたらう。」

「ボクもやりたい。でもお金がたくさんいる。オートクレーブ、攪拌機、恒温室……。今計画しているけど、一千万円はいる。」

* * *

日本の林産物でキノコが格別に好調なのはシイタケのおかげだけではない。ヒラタケ（市場名“シメジ”）、エノキタケなどが木粉・米ぬかで栽培されているからである。殺菌した培地に種菌をまき空調の部屋で育てる。この方法では2カ月ほどでキノコがとれるが、とれたキノコは丸太で育てたものより軟らかく肉うすである。それでも日本のシメジはオイシイマッシュルームよりずっと歯ごたえがある。

ウッド氏はサセックス州のマッシュルーム栽培研究部門の生化学の主任である。

「ドクターウッド、日本キノコに興味はある

か。」

「シイタケは素晴らしい。イギリス人には味が少しきついから、今すぐここで発展するとは思わないが。」

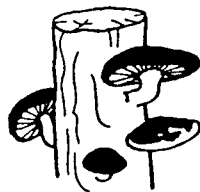
「エノキタケはどうか。」

「あれは工業製品だ。設備にお金がかかるだろう。それにキノコをとったあとをどうするのだ。公害にならないのか。ワラなら使ったあと牛が食べるが。」

木粉・米ぬかの方法はキノコ生産の合理化への一つの答えである。問題はあったが適宜解決

され出来たキノコはアメリカ人、カナダ人を喜ばせている。ロバートならずともこの方法を使って自国でキノコをつくってみようと思う人もあろう。そのとき日本からは設備も栽培のノウハウも買われていけよう。つまりささやかな公害を背負って日本キノコの現地生産がおこる。丸太での生産という「東洋の神秘性」のペールははがれ、蝶々夫人はヨーコ・レノンとなる。

きのこ農協がオペラ劇場の賛助会員になればならぬ日は近い。



≪ 事務連絡 ≫

人 事 異 動

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	現(旧)官 職 等
(教 官)		(昇 任)	
61. 11. 1	岡 田 隆 夫	史料編さん所教授	史料編さん所助教授
61. 11. 13	小 出 昭 一 郎	山梨大学長	教養学部教授
61. 11. 16	武 谷 雄 二	医学部助教授	医学部講師
"	杉 山 信 男	農学部助教授	農学部助手
"	太 田 正 光	"	"
"	廣 田 功	経済学部教授	経済学部助教授
"	梅 澤 一 夫	医科学研究所助教授	医科学研究所助手
"	藤 本 眞 克	東京天文台助教授	東京天文台助手
"	塚 本 勝 巳	海洋研究所助教授	海洋研究所助手
		(併 任)	
61. 11. 11	藤 倉 皓 一 郎	評議員	法学部教授